



# 11月ゆめのはだより



2025年11月1日

突然の秋の訪れと急激な冷え込みに木々たちも驚き、紅葉の準備を急ピッチに始めているのではないかと思います。園庭や周辺の森に出かけると、どんぐりや落ち葉、小枝を大切に集めてくる子どもたちの姿があります。自然物に同じ形はなく、子どもたちの感性によって、様々なものに見立てられ、そのつぶやきが、たまらなく魅力的で、思わず聞き耳を立ててしまいます。

## 〈行事予定〉

月	日	曜	行事
11	7	金	虫歯予防の集い（かわもと歯科）
	13	木	身体測定（乳児）
	14	金	身体測定（幼児）
	20	木	ゆめのは広場（人形劇）
	29	土	保護者交流会
12	13	土	保護者交流会
	15	月	身体測定（乳児）
	16	火	身体測定（幼児）
	18	木	もちつき
	25	木	ゆめのは広場（クリスマス会）
	29	月	保育納め

🎁 11月のお弁当日…11/8（土）・/22（土）  
🌲 保護者交流会詳細は後日お知らせします

## 2025年度 クラス編成 2025.11月現在

クラス	園児数	クラス	園児数
どんぐり	12名	ほし	25名
つくし	8名	つき	24名
たけのこ	16名	にじ	25名
りす	25名	総園児数	135名

## 幼児期の『運動あそび』について

### ～うんどう会を終えて～

雨天で10/5（日）に延期となった『第14回うんどう会』、開始時間の変更とプログラム縮小となりましたが、無事に開催できました。保護者の皆様には、多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。うんどう会で大切にしていることは、特別な何かをすることではなく、普段の遊びが子どもたちの育ちにつながり、その力を発揮できるよう大人は裏方になり支えることです。そして、できるできないではなく、子どもたち自身が主体性を持ち、楽しむことです。

興味深いデータで、幼児（3・4・5歳児）の運動能力を調査した結果、体育・スポーツ系の運動頻度を高く指導している園は最も低く、指導していない園が最も高いということでした。その差は何かということ、子どもの自発性による運動を体験・経験しているかということのようです。また、幼児期に発達する運動能力は『運動コントロール能力』であり、いい体の動きを生み出す、つまり基礎的運動パターンの習得につながります。日々、のびのびと自分の意思で体を動かすことが、今後の運動能力の基礎を作っていくようです。そのような姿を感じていただければ、幸いです。



## ゆめのはエピソード③

### 『みとって みとった？』



夕方の園庭で、4歳児Aさんが鉄棒で逆上がりをしていました。事務室からテラスに出ると、「みとって!!」と、元気な声で伝えてくれました。逆上がりを何度も何度もし「みとった?」と確認、「みてたよ。何回も逆上がりして、すごいね〜!」と伝えると、にっこりと嬉しそうな表情を浮かべていました。😊

何気ない一場面ようですが、Aさんは自分の中で連続逆上がりのイメージを持って、日々遊びの中で何度も何度も挑戦し、納得できる形になったので、私に声をかけたのではないかなと思ったのと同時に、自信が持てることを誰かに伝えたいと、しっかり表現する姿に感動しました。公立の高校入試で『自己表現』が導入されていますが、乳幼児期から、しっかりと自分について知り表現し、そのことを受容する環境があれば、きっと自然と育まれていくのだなと感じました。

## 〈お知らせ〉

○11/1～宮本ゆかりさんが、入職しました。フリーとして、保育と一緒に支えてくださいます。